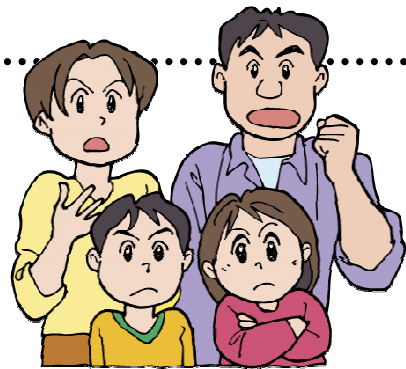


3月議会開会中

産業建設常任委員会
 産業建設常任委員会では8日、市営住宅条例の一部改正や令和5年度の水道事業会計予算など7議案について審査が行われました。
 西山実議員は、市営住宅の修繕費用に関する負担区分が変更になることについて、規則で定めるだけでなく条例に明記すべきではないかと質疑、他の議案についても質疑を行いました。

厚生文教常任委員会
 厚生文教常任委員会では2日間にわたり、令和5年度の病院事業会計や国保特別会計、介護保険特別会計の予算など25議案について審査が行われました。
 山岡光広議員は、介護老人保健施設事業会計予算について、令和5年度でケアセンターささゆりが廃止になることから反対討論を行いました。また、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の各予算についても、理由を述べて反対討論を行いました。

総務常任委員会
 総務常任委員会は10日、個人情報保護の保護に関する条例制定、消防団条例の一部改正の2議案について審査が行われました。
 岡田重美議員は、個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について、今回の条例案は行政の持つ個人情報情報を民間企業に流通・開放しようとするものであり、個人情報保護よりも企業のもうけのための利活用が優先されかねないなどの理由を述べ反対討論を行いました。



予算を全額カット

旧水口町時代からなが年続けてきた平和施策

広島平和記念式典 子ども派遣事業

削減の問題点を指摘、復活求める

開会中の3月定例議会は、13日より予算決算常任委員会が開催され、部局ごとに令和5年度の一般会計予算案の集中審査が行われました。
 初日に行われた総務部の審査の中で、毎年8月6日の広島平和記念式典に市内の小学生を派遣してきた事業予算が、新年度の予算で削られていることが西山実議員の質問で明らかになりました。西山議員が式典派遣の予算がないことの説明を求めたところ、市の担当者

は「従来の派遣参加は計画していない。代わりにパネル展示を広く行う」と答弁しました。
 山岡光広議員は、「市が長年続けてきた貴重な平和施策をなぜ削減するのか。原爆ドームをみて、現地で語り部の話を聞いて戦争の悲惨さ、平和の大切さを学ぶ。現地へ行くことがどれだけ大事なことがあるのか。だから続けてきた。なぜ削減したのか。担当部局の提案か、市長提案か。仮にコロナ禍のもとで、これまでのような取り組みが困

難であっても、オンラインなど工夫も可能。復活するべき」と求めました。また無党派の田中喜克議員からも「旧水口町時代から続いてきたもの。小学生に自分の目で平和について感じてもらおう貴重な体験だ」と発言がありました。
 岸田政権による「戦争国家づくり」が進むなか、戦争か平和かが問われています。いまこの時こそ、平和記念式典参加の事業は重要であり、予算は復活すべきです。

福島を忘れない

原発のない社会へ2023びわこ集会

福島原発事故から12年目となる11日、大津市膳所公園で「原発のない社会へ2023びわこ集会」が開催されました。呼びかけ人の畑明郎氏や井戸謙一弁護士、平尾道雄米原市長などが、原発の運転期間延長、原発の開発・建設の暴挙を許してはならないと訴えました。集会のあと、パレードが行われ、小西喜代次前市議、山岡・岡田・西山の各市議も元気に参加しました。



3月議会は23日が最終日です。各議案に対する討論、採決が行われます。ぜひ傍聴にお越しください。スマホ、パソコンからでも視聴できます。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2023年 3月 19日 第442号



山岡 光広
 甲南町森尻 16
 TEL 86-2985
 Fax 86-0415



岡田 重美
 土山町南土山甲 78-15
 TEL 66-0696
 Fax 66-0696



西山 実
 水口町本丸 3-28
 TEL 62-3044
 Fax 62-3044